

成果報告書

(地域文化倶楽部創設支援事業)

江東すみだ大道芸協会

所在地	東京都墨田区立花1-11-2 いちごガーデン 1102	設立年	2020年
運営主体	江東すみだ大道芸協会／東京		
事業目標	地域の子供を中心に、日本伝統芸や海外で活躍する一流のパフォーマーなどのプロフェッショナルな芸を地域で入場無料で見ることができ、文化体験ができる。		
きっかけ	自分が幼少時にお金の無い家庭で育ち、習い事や観劇にいける友人が羨ましく、お金の心配無く子供達に芸能を体験して欲しいのが一つ。もう一つは感染症の影響で学校での文化やコミュニケーションが足りておらず、今その点を重視した企画が必要と思ったから。		
団体・組織等の連携	墨田区の自治体すみだカット倶楽部と連携、桜堤中学校の隣にある水辺テラスにて地域の青少年に向けて開催。江東区では江東区河川敷公園指定管理会社と五ノ橋豊国通り商店会の協力で、地域の青少年向けの文化体験イベントとして開催。		
活動場所	墨田区/白鬚橋上流水辺テラス及び江東区/豎川河川敷公園内 豊国五渡亭園		
活動概要	江東区及び墨田区の文化貢献に特化し、入場料を取らずに子供達に文化に触れてもらう。学校でいう観賞会や文化体験の要素を野外で行い。強制ではなく、子供の興味をもつことを伸ばしていくこと、教養を深めていくことが目的である。		

○本事業による成果

従来の活動の成果のみではなく、本事業を実施したことにより得られた成果について記載すること。(数値やグラフで示すものがあれば望ましい)

将来、継続的に開催することで、部活動や学級鑑賞に代わる文化体験の場となっていくことを今回の事業で実証できた。このような専門の技術は、通常の学校教員には無いものであり、文化に関して特定のプロフェッショナルな専門の指導員をつけることで、学校の教員がより授業や生徒の精神面のサポートに集中していける。例えば、普段、習うことの無い日本の太神楽の傘回しに挑戦した中学生は、日本の職人が作った和傘や鞆などにも感動をしていた。良かった点としてはそのようにただの技術ではなく、道具一つでもこだわりのある文化の背景や歴史を学んだ生徒達が多かった。改善点(反省点)としては、感染症対策を優先し、野外での開催であったので、強風の影響を受けて機材が倒れて破損があった。人への被害が無かったのが幸いだが、本事業を続けるにあたり、指導員のみならず、運営スタッフも学ぶ機会を与えていくことが、今後の課題となった。

○児童・生徒への指導に関する工夫

指導を行う上で独自で工夫していることについて記載すること。

世界で活躍する第一線の芸能者による指導は、学校生活の中では受ける機会が少ないと思われる。生徒達にとって人生における貴重な場となる。また、技術を伝えるのみならず、例えば海外で日本の伝統芸をどう見られているか、世界大会で優勝する為にどのような努力をしてきたかなど、現役の一流アーティストの話を聞いたり質問できるような雰囲気になるように心がけた。現実的に文化の方面に就業しないとしても、世界で何かを発信し評価されている先駆者の心構えは、今後海外でも活躍していくであろう若者達には貴重な体験談となるであろう。また、指導者には、指導用の練習をするための場を提供し、感染症の影響でスケジュールの延期が相次いだ時間を使い、己の指導のレベルアップの為に研磨をした。

運営上、工夫している点を記載する。

指導者は質の良さを第一に、春から運営メンバーでの話し合いのもと打診したが、緊急事態宣言などの影響で延期になってしまった為、10月より急いで地域と連携し、指導者を運営にて確保した。開催日目処が立ったのがギリギリだったので、生徒達の募集をするポスターやチラシをその時期に運営で用意し、JCOMすみだなどの地域テレビでも募集の案内を協力してもらった。地域のメディアの協力があり、近隣の中学生のみならず、小学生の子供や大人の来場も多く、年代をわけないことが、逆に中学生くらいの生徒にとっては新しいコミュニティ作りの一環となることができた。

○継続的な運営に関する課題・展望

活動場所、指導者、活動経費、教育機関や地域等との連携等、様々な観点からの課題と展望を記載する。

本事業を通じて、すみだカット倶楽部などの自治体、五の橋豊国通り商店会などの地域、江東区河川敷公園指定管理会社などの民間企業と共にこのプロジェクトに対して協力体制が出来たのは、本当に良い経験となり、今後の開催でも連携をして活動場所を確保し、より今後は質の良い文化体験を提供できる展望となった。生徒や保護者・学校からの会費は徴収していないので、今後は助成金から捻出されない経費(指導者弁当や音響機材など)をどのような形で得ていくかが課題となった。保険は主催者支払いのイベント保険にて参加者含む対人・対物は対処できたが、前述のように強風で機材が倒れ破損することもあり、運営に必要な機材の保険の加入も今後は検討したい。感染症対策も踏まえて地域の方の協力により野外会場となったので、会場費はかからないが、その分スタッフブルゾンなどの印刷代や、手続きの外注事務代、雨天を想定した衣装・衣類などの活動経費が多くかかり、その負担を継続的な民間の基金や助成金などで賄うことが必要と感じた。

○令和5年度からの学校部活動の段階的な地域移行に関する方針・計画

上記の課題をどのように解決し取り組んでいくのか、方針や計画を記載する。

往來の部活動と比べ、「強制ではない」自発的な興味、そして先輩後輩などの人間関係の悩みがなく、率直に文化を通じて成長ができるという点を大切に、長期的な視野を持って課題に取り組んでいきたい。上記課題のうち、スタッフの運営に関しては、次回から当日運営を外注で呼び運営側が野外での開催における安全策をさらに学んでいく。そして、長期的な開催場所を墨田区と江東区で確保することができたので、この場所を拠点とした長期的な地域の基金に申し込み、金銭的な課題をクリアにすることで、今後さらに段階的に学校の部活動を地域に移行することができる。活動場所となる学校近くの広場は事前に区の許可が必要であり事務としては容易ではないので、今後は新型コロナウイルスの影響による延期を事前に見据えながら来年度の開催予定を地域と話し合い多めの日程を確保するなど、今年度の事業の経験を生かしてよりスマートに開催できるように計画をしていく。活動場所や指導者・管理監督の確保は問題がないので、上記方法で財源及び新型コロナウイルスによる度重なる延期などに対応できるように組織を構築していけば、より長期的かつ生徒・指導者数を増やし、より大きな規模にて部活動・放課後学級としての機能を行うことは可能である。

※上記4点の記載の中に活動の画像を挿入してもよい。

※『地域移行(展開)を進める際のポイントチェックリスト』を参照すること。

参加者 (予定人数)	対象学年 小学1年生～高校生 約80名 今後の予定人数 毎月50名～
募集方法	チラシ配布、ポスター掲示、学校での通知、地域テレビでの放映
指導者	6名による外部講師。江戸太神楽・しゃぼん玉・西洋竹馬・ジャグリングなど。シルク・ド・ソレイユアーティストや世界大会優勝経験者、海外や国内の芸術・芸能のフェスティバルに文化人として招聘されたプロフェッショナルな芸能者。
移動手段	徒歩及び保護者による送迎。
活動費用	講師謝礼22,000円／回(準備日や指導用教材制作の費用も含む)
スケジュール	本来は2021年7月より7回にかけての開催であったが、感染症の影響により、2021年10月5日、10月31日は鑑賞のみ12月5日、2022年の3月6日、4月10日の体験及び鑑賞を行った。※緊急事態宣言や蔓延防止措置の影響の為、地域会場の判断により日程の延期及び当初の予定回数の縮小となった。
保険加入等	野外イベント保険

【活動の様子（写真添付）】

